

当別文芸の会だより NO.28

H24・7/30 発行 (連絡先・河地良一 TEL23-2103)

◇ 7月の読書会は井上靖「おろしゃ国酔夢譚」でした

早いもので夏本番の季節を迎えております。7月14日(土)13:30からの例会・読書会には予定が重なった方もおられましたが、12名のメンバー(同人)の方が参加されました。

嬉しいことに、札幌市清田区から三浦ゆか子さんが新メンバーとして今回から加わり、今年度のメンバーは現在25名になりました。

加入の動機は、昨年、JR北海道が主催するヘルシーウオーキングで当別に来た時に、駅前の「ふれあい倉庫」で「当別文芸」(創刊号)を購入し読んでみて、仲間に入れるかなと思ったそうです。みなさん、どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、読書会は8月の「文学散歩」が旭川なので、事前学習を兼ねて井上靖の作品を一つ読んでみようということで「おろしゃ国酔夢譚」を取り上げました。司会は松本弘さんが担当し、みなさんの読後感想をお聞きしますと、文庫本で382ページもあり、読破するのに大変だったようです。

特に序章の20ページの歴史的な記述の解説はなかなか理解できず、それを飛ばして読んだという人もいたようです。それを過ぎて、大黒屋光太夫たちの難破したあとの数奇な運命に翻弄されるストーリーは圧巻というのが大方の感想でした。18世紀後半の日本はまだ鎖国の時代、国の内外の情勢からこの作品を考えると、また、興味が広がりそうといったところでしょうか。

◇ 「当別文芸」(第2号)出版記念の会盛大に

7月20日(華・花=金)18:30より田西会館でメンバー(同人)14名が参加し、第2号の出版を祝う会が開催されました。

竹原一孝さん、堀江三千代さんが幹事役となり、参加されたメンバーのみなさんからも、第2号の内容の話題や情報交流などがあり、盛り上がりました。

また、青柳文吉さんが中心となり、当別文芸の会の情報を「当別町のホームページ」(ポータルサイト)に載せるテストパターンなどが紹介されました。

◇ 次回の8月25日(土)は「文学散歩」・旭川です

「当別文芸の会」主催の第3回「文学散歩」は8月25日(土)、日帰りで旭川に行きます(JR石狩当別駅南口8:10発、帰りは17:00着予定です)。

旭川では「三浦綾子記念文学館」「大雪乃蔵レストラン(昼食)」「井上靖記念館」を見学します。参加費はバス代、昼食代、見学料込で3,500円です。

お友だちをお誘いのうえ、参加をお待ちしています(定員35名になるよう)。